



■ 地域における人づくり実践事例

地域の若者が地域と共に育つ社会を目指して！

きやりこみゅ²（静岡市）

Carrier × Community × Communication

代表 井上 美千子

問合せ ☎ 054-374-5174

e-mail Kyarikomyu@gmail.com



ワークショップ無事終了しました(学生スタッフ)

「きやりこみゅ²」とは？

「きやりこみゅ²」は高校生のキャリア支援を中心に、地域の若者が地域と共に育つ社会の実現に取り組むNPOです。

現在、県内大学生が中心となり、約30名の学生スタッフが静岡県内の高校で生徒と一緒に将来を考えるワークショップを実施しています。

「きやりこみゅ²ワークショップ」開催

6月に県立静岡中央高等学校（静岡市葵区）で1・2年次の生徒を対象に「きやりこみゅ²ワークショップ」が開催されました。

今回のワークショップは、学生スタッフがファシリテーター役となって、生徒が、今後の進路を自ら進んで考えるきっかけを作ることを目的として行われました。

具体的には、まず、生徒にとって少し年上の学生スタッフが、ナナメの関係から、自己紹介や体験談をタブレット端末やスケッチブックを駆使してわかりやすく伝えます。その後、生徒も学生スタッフの発表を参考に自分自身のことを語り、将来について考えます。

概要説明を受けた後、生徒5人程度のグループを作り、そこに学生スタッフが1名加わりました。

最初は、何をするのかと戸惑っていた生徒たちも、学生スタッフのユーモアあふれる自己紹介と視覚的に工夫された体験談を聞いて、自然と笑みがこぼれ、その場の雰囲気が一気に和みました。

そして、それに感化されるように、今度は生徒が自分自身の言葉で語り始めました。生徒の話が途切れないうち、学生スタッフが熱心に耳を傾け、生徒が語るのを手助けしていました。



学生スタッフを中心に輪ができます

後ろで見守っていた先生方の嬉しそうな笑顔が、とても印象的でした。

地域と共に育つ！

代表の井上さんは「今後、今回のように高校の早い時期に、生徒が少し年上の先輩と一緒に将来を考え、自分の可能性に気付く経験の場を、より多くの高校生に届けていきたい」と語っていました。

ぜひ、この活動を県内の高校にも広めていってほしいですね。(伊熊)



学生スタッフを取りまとめる代表の井上美千子さん
(人づくり推進員)

■ 地域における人づくり実践事例

芸術・文化で人づくり、そして未来へツナグ



「かっぱの総理大臣」



「本田宗一郎物語」

「龍水の都」文化体験 プログラム実行委員会 (浜松市)

事務局長 笹竹 和行
問合せ ☎ 090-1566-8744



「龍水の都」文化体験プログラムとは？

今年度から県の人づくり推進員に委嘱された笹竹和行推進員が、平成14年度に「龍水の都」文化体験プログラム実行委員会を立ち上げました。

この団体は、地域の特色を活かしたミュージカルを市民協働で創作・発表しています。地元の子供たちの豊かな心の形成に努めるとともに、自然と人間の共生、命の重さ、夢を抱くことの素晴らしさ、ものづくりの大切さ、故郷や家族のありがたさ等を伝えることを目指しています。公演は今までに27回を数え、延べ出演者は1,500人を超えています。今や地元になくてはならない団体です。

秋の公演に向けて

取材当日は、天竜区光明ふれあいセンターで10月に公演されるミュージカル「もりのたね（第5回浜松市森林のまち童話大賞）」と、11月に公演される「本田宗一郎物語」の練習真っ最中でした。

まだ、ところどころ台本を見ながらの練習でしたが、ミュージカルの様々な場面を、小・中学生から成人までの幅広い世代がテンポ良く、ところ狭ましくとパワフルに歌って、踊って、演じていました。

その躍動感あふれる生き生きとした姿は、見ていてとても楽しい気持ちにさせてくれました。



ミュージカル
「本田宗一郎物語」の練習

本番に向けて隔週日曜日の朝10時から夕方5時まで練習しています。

体験を通して得たもの

休憩の合間に、高校でも演劇部に所属しているという女子高校生3人組にインタビューしてみました。この実行委員会に関連するワークショップを通じて小学校低学年からミュージカルに親しんでいるそうです。

最初は、自分から進んで表現することに戸惑いがあったそうですが、何百人という観客の前で演じることで自信が付き、今では、人前に立っても臆することがなくなったと語っていました。3人ともムードメーカーでありながら、下の世代を積極的に引っばっていて、とても魅力的でした。

未来へツナグ



(左)事務局長の笹竹和行さん
(人づくり推進員)

(右)脚本・演出・演技・歌唱指導・
振付まで担当する
芹澤文子さん

事務局長の笹竹さんは「今後、在籍している会員が卒業していても、地元の偉人である本田宗一郎や秋野不矩が何度挫折しても挑戦した姿を思い浮かべながら、夢をもって生きていってほしい」と語ります。

この活動は10年以上も継続していますが、今もこれからも次世代を担う子供の心を豊かにし、天竜地区の地域文化を未来へ繋ぐ架け橋になるでしょう。このような地元で根付き、市民協働で行うすばらしい活動を、みんなで長く大切にしていきたいですね。

(伊熊)

■ 県の事業紹介

総合教育課が新設されました！！



総合教育会議



地域自立のための
「人づくり・学校づくり」実践委員会

文化・観光部
総合教育局
総合教育課



問合せ ☎ 054-221-3304

e-mail sougouEDU@pref.shizuoka.lg.jp

総合教育課の新設

地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正され、「総合教育会議の設置」及び「教育に関する「大綱」策定」が地方公共団体の長の責務とされました。

そこで、県では今年度「総合教育課」を新設し「静岡県総合教育会議」、「地域自立のための「人づくり・学校づくり」実践委員会」の運営を行っています。

また、これまで大学課で実施していた「人づくり推進事業」を総合教育課に移管し、本県の目指す「有徳の人」づくりに取り組んでおります。

静岡県総合教育会議

総合教育会議は、知事と教育行政を担う教育委員会が十分な意思疎通を図り、地域の教育の課題やあるべき姿を共有して、より一層民意を反映した教育行政の推進を図ることを目的としています。

年間5回の開催を予定しており、4月に開催した第1回会議では、今年度、次の4項目について重点的に協議していくことが決まりました。

- ・教職員及び高校生の国際化
- ・部活動等で活用できる人材バンクの構築
- ・農工商業、芸術、スポーツなどの実学の重視
- ・大学と大学院の充実

さらに、6月の第2回会議では「教職員及び高校生の国際化」をテーマに議論され、高校生の海外修学旅行を充実させる方向性で一致しました。

ここで合意された事項は、県庁内の各担当部局で実現に向けた取組が行われることとなります。

地域自立のための「人づくり・学校づくり」実践委員会

地域自立のための「人づくり・学校づくり」実践委員会は本県独自の取組です。知事が総合教育会議で協議し、調整する議題等について様々な分野の有識者からなる委員17名から事前に意見をもらうことを目的としています。

こちらにも年5回開催が予定されており、すでに2回実施されています。毎回、委員から多くの具体的な意見をいただいています。

人づくり推進事業

人づくり推進事業は、県内に100名以上いる人づくり推進員が、家庭や地域における人づくりへの助言を通じて、県民自らが行う人づくりの実践活動の促進を図ることを目的としています。

人づくり推進員は、無料で幼稚園、小学校、公民館等で、地域や家庭の人づくりについての様々なテーマについてわかりやすく講演をしています。

詳しくはインターネットで「静岡県の人づくり推進」と検索して下さい。

また、人づくり県民運動として、県内の小学1年生全員に「人づくりチャレンジカレンダー」を配布したり、この「人づくりニュースレター」の作成も行っています。



人づくり推進員による
人づくり地域懇談会

年間約300回開催されています。

■ 人づくり推進員委嘱式

県内の全市町で「人づくり推進員」が活躍しています。知事から委嘱を受けた推進員は、それぞれの地区で「人づくり地域懇談会」などを通じ、「人づくり」についての様々な情報や実践例をわかりやすく伝えていきます。今年度も、県庁にて「人づくり推進員委嘱式」が行われ、新たに9人の推進員が誕生し、本年度は総勢104名の推進員で、家庭や地域における人づくりを推進していきます。

新たに9人の推進員を委嘱 「有徳の人」づくりの推進を！

委嘱式では、まず川勝平太知事から推進員に委嘱状が手渡され、続いて懇談となりました。

はじめに知事から、「富士山のように美しい品格のある人をみんなで一緒につくっていきましょう」とあいさつがありました。

続いて各推進員が、これまでの経験の中で大切だと思うこと、現在までの人づくりや地域づくりの活動成果などを話されました。そして、これからの人づくり推進活動に対する意気込みや目指していくことについて熱く語って下さいました。

また、同席した先輩推進員から心強いエールをいただきました。(伊熊)



人づくり推進員
委嘱式

知事から一人一人に
委嘱状が手渡されました。



知事との懇談会

知事が人づくりの
大切さを語りました。

◆下田市 外岡 康光 推進員

未来を託す子供たちが「有徳の人」に成長することを願って力を尽くしたいと思います。

◆南伊豆市 山田 政良 推進員

「共に前を向いて生きて行こう」という意識を共有できればと思います。

◆松崎町 佐藤 みつほ 推進員

人づくりに大切なことを意識しながら「生き方を伝える」ことをしていきたいと思っています。

◆伊豆市 朝倉 啓二 推進員

家庭や地域のお役に立てるように心がけたいと思います。

◆富士市 佐野 弘美 推進員

自らも鍛え、周りの方々と共に成長できるように努めてまいります。

◆富士宮市 稲葉 節子 推進員

愛（優しい）、感動（気づき）、感謝（笑顔の挨拶）の心を大切にしていきたいと思っています。

◆静岡市 井上 美千子 推進員

地域の若者が地域で育つ社会の実現を目指し、人づくり活動に取り組んで参ります。

◆浜松市 河原 みち代 推進員

次世代を担う子供たちの育成のため努力したいと思います。

◆浜松市 笹竹 和行 推進員

市民協働による事業展開をし、将来を担う子供たちの豊かな心の形成に努めます。



■編集・発行 静岡県 文化・観光部 総合教育局 総合教育課(総合教育班)

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3304 FAX 054-221-2905

E-mail sougouEDU@pref.shizuoka.lg.jp URL <http://www.pref.shizuoka.jp/bunka/bk-170a/>

静岡県の人づくり推進

検索

静岡県は「人づくり日本一」をめざしています

